



川村光先生を代表とする特定領域「フラストレーションが創る新しい物性」がスタートしました。巻頭言にありますように、川村特定は“フラストレーション”というキーワードを柱にして、スピン系、電子系、リラクサー、マルチフェロなど幅広い研究対象を束ねているのが売りで、代表によるとこのようなタイプの特定領域研究は過去に例がないようです。このような分野横断型の研究からは、我々の想像を越えた新しい発見がうまれやすいのでは、と今は楽観的に思っています。

先日、11月11-13日に班長、班員、評価者一同が会したキックオフミーティングが開催されました。ちなみに最遠方からの参加は私一短期滞在先のフランスから家族を残して帰国一でしたが、行きはスーツケースが届かず、帰りはパリの大規模ストに巻き込まれ、と散々でした。さて、キックオフミーティングでは、分野横断型である故、参加された先生それぞれ（たぶん川村先生以外）に初めてお目にかかった方が少なからずおられたのではないかと思います。国内の会議でたまに感じる閉塞感は全く感じませんでした。ただ、逆にバックグラウンドが違うだけに、同じ講演内容でも、ある人にとっては当たり前すぎるのが、別の人には全くチンプンカンプンだったりするわけで、分野横断型の研究会の難しさも感じました。しかし、これは喜ぶべきフラストレーションで、時間の関数で徐々に解消していくと思います。このニューズレターの記事がその一助になればと思います。今後、有馬先生と共に編集を担当します。よろしくお願ひします。

陰山洋（三角探しの旅：モンサンミッシェル）

特定領域研究「フラストレーションが創る新しい物性」

ニューズレター Vol.1

2007年12月発行

発行者	川村 光	(大阪大学 大学院理学研究科)
編集担当	有馬孝尚	(東北大学 多元物質科学研究所)
	陰山 洋	(京都大学 大学院理学研究科)
編集協力	芝田典子	(大阪大学 大学院理学研究科)